

揖保川水系河川整備基本方針（案）の概要

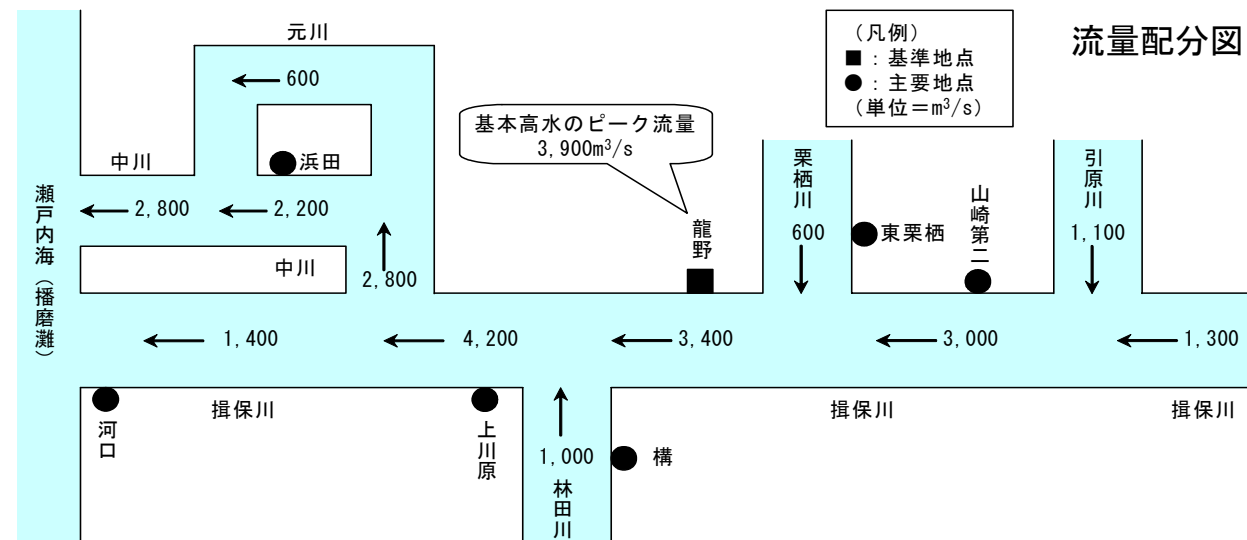
流域及び河川の概要

- 下流・河口部は人口・資産が集積し、ひとたび氾濫すると被害が甚大
- 流域の産業は河口部を中心とした重化学工業の他、うすくち醤油、手延べ素麺、播州皮革などの揖保川の清流に依存した地場産業が盛ん



災害の発生の防止又は軽減

- 工事实施基本計画策定後に計画を変更するような出水は発生しておらず、流量確率（1/100相当）による検証、既往洪水からの検証により、基本方針においても既定計画と同様に基本高水ピーク流量3,900m³/s（龍野）と設定



- 基本高水流量と計画高水流量の差分については、既存及び新規の洪水調節施設により対応。
- 堤防の新設、改築等により、河積を増大。
- 洪水時に流下の支障となっている堰、橋梁等の横断工作物の改築については、関係機関と調整・連携を図りながら適切に実施。

河川環境の整備と保全

- 河原固有の植物が生育する丸石河原や中下流の水際植生などの保全・再生に努めることとしています。
- 堰の改築等にあたっては、関係機関と調整した上で、魚道を設置するなど魚類等の生息の場の連続性の確保に努めることとしています。
- 過去に水質汚濁の著しかった支川林田川については、関係機関と連携し一層の水質改善に努めることとしています。



河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 広域的かつ合理的な水利用の促進を図るなど、今後とも関係機関と連携して必要な流量の確保に努める
- 上川原地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、概ね3m³/sとし、以て流水の適正な管理、円滑な水利使用、河川環境の保全等に資するものとする